

現代倫理道德研究会（平成 31 年 2 月 6 日）発表要旨

中小企業の社会的責任論：  
ソーシャル・キャピタルからのパフォーマンス評価

社会科学研究室  
研究員 横田 理宇

本研究では、中小企業の CSR（企業の社会的責任）活動をソーシャル・キャピタル理論の枠組みから捉えることで、CSR 活動が企業のパフォーマンスに与える影響を考察した。ソーシャル・キャピタルとは、社会ネットワークにおける信頼関係や返報性、情報交換、協調行動が個人や組織にとって資源として役立つという概念であり、横田・田中（印刷中）では、群馬県高崎地区で活動する中小企業の CSR 活動がソーシャル・キャピタルの蓄積を通じてパフォーマンスに貢献する点が指摘されている。しかし、当該効果が調査事例のみに観察される特異的現象なのか普遍的現象なのかの検証は行われておらず、また、ソーシャル・キャピタルの負の側面であるネットワークによる拘束やフリーライドといった現象についての検討も行われていない。本研究では、これら現象による正・負の影響を明らかにし、中小企業の CSR 活動とパフォーマンスの間にある因果関係を明確にした包括的モデルの構築を目的として、ソーシャル・キャピタルや中小企業の CSR に関する先行研究をレビューし、考えうる作業仮説の構築と仮説を検証する上での方法論の検討を行った。